

- 03 クローズアップ
箱根駅伝ランナー
中澤星音さん（日本大学陸上競技部特別長距離部門2年）
- 04 市からのお知らせ
「令和6年能登半島地震」関連情報／4月から製品プラスチックの収集がスタート！／新型コロナワクチン接種が、年1回の定期接種に／事業所のエネルギーに関する経費を支援！／インターネットから公共施設の予約ができます ほか
- 07 まちの話題
「ホシガレイ」初出荷／黒森神楽の巡行舞立ち神事・舞初め／宮古市魚市場初売り式／第18回宮古もてなし観光・文化検定
- 08 子育て情報
にこにこルームみやこ／つどいの広場／2月のハッピーバースデー ほか
- 10 健康プラザ
健康相談日程 ほか
- 12 図書館情報
市立図書館2月の特集 ほか
- 13 各種無料相談・地域おこし協力隊便り
2月の各種無料相談日程／地域おこし協力隊便り
- 14 情報掲示板
公民館・各市民団体などの催し ほか
- 16 お知らせ
市議会3月定例会議を傍聴しませんか ほか
- 18 スタジオから・俳句
- 19 ふるさと博物館
津軽石の郷土芸能と鮭漁
- 20 まちの話題ピックアップ
第5回宮古市Instagramフォトコンテスト結果発表

20歳のつどいの他の写真については、市ホームページ（右記QRコード）をご覧ください



2月の納期

2月の市税の納期

固定資産税第4期

国民健康保険税第8期

2月の夜間・休日の納税相談窓口

【夜間】 ○期日＝2月8日(木)

○時間＝午後5時15分～8時

【休日】 ○期日＝2月25日(日)

○時間＝午前8時30分～正午

※市役所への出入口は2階の市民交流センター側（東側）のみとします。ほかの出入口は施錠されていますので、ご注意ください

※2月の夜間窓口は8日(木)のみとなりますので、ご注意ください

■問い合わせ 市税務課収納係（☎68-9074）

友と祝う二十歳の門出

- 撮影日 1月7日
- 場所 市民文化会館



2月の表紙

1月7日、市民文化会館大ホールで「令和6年宮古市20歳のつどい」が開催され、327人が出席。式典では、スライドショーが上映され、懐かしい写真や恩師の姿に歓声が上がりました。

20歳の誓いを述べた伊藤美咲さん（20、重茂）は「たくさんの人に支えられてきたことを忘れてはいけない。発言や行動に責任・自覚を持ち、社会に貢献していきたい」と決意を新たにしました。



久しぶりの再会に、友人らと記念写真を撮る姿がたくさん見られました



小・中学校時代の写真のスライドショーに懐かしい姿を見つけ、思わず笑みがこぼれる場面も



「20歳の誓い」で支えてくれた人への感謝や未来への決意を述べた伊藤美咲さん

ずっと憧れていた舞台。第100回箱根駅伝を駆ける！

日本大学陸上競技部特別長距離部門2年

中澤 星音 さん (なかざわ・せおん 19歳)

今年のお正月に行われた第100回箱根駅伝。この節目の大会に、本市出身の選手が出場しました。日本大学のメンバーとして復路9区を走った、中澤星音さんです。



提供：星音さんの父・明央さん

箱根駅伝に興味を持ったのは小学生の頃で、「ランナーをテレビで見て、とてもカッコ良かった」と話す中澤さん。小学4年生の夏休みに父親と箱根に行き、山登り区間として有名な往路5区を走ってみ

たこともありません。本格的に陸上を始めたのは中学生からで、宮古市立第一中学校の特設陸上部に始まり、その後、一関学院高校、日本大学へと進学し、自身のスキルアップのために日々汗を流しています。

中澤さんは「沿道の大きな声援が途切れず聞こえた。それだけ大きな舞台に立つことができたと感じ、これまで頑張ってきた良かったと思っただ」と大会当日を振り返ります。また、メンバーに選ばれた時のことを思い返し「ずっと目指していた場所だったの

で、心の底からうれしかった」と笑顔を見せます。しかし「当日の自分の走りには満足できなかった」と言



シューズの寄贈に対し、山本市長から感謝状が贈られました

います。「積極的な走りができ、レース展開を冷静に判断できたという収穫もあったが、まだまだ練習不足だと痛感した。前半の早い積極的なペースを、後半まで維持できなかったら勝てない。そこが一番の課題です」と悔しさをにじませます。

また、中澤さんは1月7日に行われた20歳のつどいに出席し、駅伝当日に履いたシューズを本市に寄贈しました。「スポーツをする宮古の子どもたちの励みになってほしい。頑張り続けていければ、必ず目標を達成できる」とエールを送ります。

今月に20歳という節目を迎える中澤さん。「当たり前前ことを当たり前にできる人間になりたい。自分の発言と行動にしっかりと責任を持ちたい」と決意を新たにします。また「もっとチームに貢献し、

箱根。それは目指した場所であり、これからも目指す場所